

(様式第1号)

平成28年11月30日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 鈴木 照一 様

代表者 伊藤 和子  
記録員 佐藤 俊弥  
班員 結城 義巳  
" 村山 俊雄  
" 熊澤 光



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成28年11月7日	
2 会 場	市立寺津公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	2人	
5 報告内容	議会活動状況説明、6月から9月までの定例会・臨時会で議決した内容、賛否が分かれた議案とその理由など	
6 意見交換の内容	意見等	当日の回答
	<p>市民</p> <p>意見交換会を知らない人がいっぱいいる。地域の関心も薄い。時間的に余裕がなくなっている。</p> <p>少子高齢化、人口減少により、一定の危機感がある。小学校も来年は複式学級になりそう。住宅団地の計画などあるのか。若い人たちは結婚すると他に出て行ってしまう。</p> <p>寺津は立地条件も良いし、山口のなでしこ団地みたいに成功するのではないかと考えている。(1)</p>	<p>村山議員</p> <p>だいぶ前に原崎に団地の話があったが、既存の集落がおかしくなるのではと反対した。山口も10年ぐらいはかかっている。子どものいる家族を優先している。</p> <p>結城議員</p> <p>津山でも今まである集落より大きくなるのでは、繋がりについて懸念があった。今、金井団地ができ、子どもが増えている。</p> <p>優良田園住宅制度を活用して建てることできるが、上貫津では規制があり建てられない問題もある。</p>

	<p>市民</p> <p>ゆびあ周辺に住宅団地と介護施設があればいいと、まちづくり懇談会で話も出るが、ダメだと言われる。(2)</p>	<p>議員</p> <p>農用地は宅地開発が認められない。放任園地が草ボウボウになっていても難しい。</p>
	<p>市民</p> <p>学童クラブができたおかげで、残ってくれる人もでたが、天童市全体としてはどうか。(3)</p>	<p>議員</p> <p>天童市は土地区画整理事業が次々と取り組まれ何年も経った。自家用車がない時代の事業で、今は人数分の駐車場が必要になったこともあり、若い人は家を出て、高齢者のみ世帯となっている。</p> <p>議員</p> <p>荒谷の八千代台も最初は良かったが、不便だと高齢者が残されている。歳増も寺津と同じ問題を抱えている。議会としても周辺集落のまちづくりについて取り組んでいきたい。</p>
	<p>市民</p> <p>今回の議会だよりの請願の件だが、不採択とした理由を具体的に聞きたい。(4)</p>	<p>村山議員</p> <p>意見書出してという請願だが、地方財政確保は地方六団体でやっている。連合山形で出してきたが、今さら連合からそんなこと言われなきゃならないのだ。労働組合が直接言えばいい。なぜ市議会を通すのか。</p> <p>熊澤議員</p> <p>地方の時代と言われている。地方交付税に頼るやり方より、地方が自立するようにならなければならないので反対した。</p> <p>佐藤議員</p> <p>会派で話し合ったので反対した。</p> <p>結城議員</p> <p>紹介議員として審査に出たが、請願者が連合山形だからというだけで</p>

		<p>議論がかみ合わない。請願内容について議論すべきだ。</p> <p>地方交付税なくして地方自治体は成り立たず、大企業を抱える都市と天童では大きな差がある。地方財政確保は必須だ。</p> <p>伊藤議員</p> <p>委員会の中でトップランナー方式が今年度から導入され、減額されており、地方財政確保のための意見書をあげるべきだった。</p>
	<p>市民</p> <p>請願権、選挙権は国民の権利だ。天童市議会は請願者を団体で差別することが以前からあるようだ。</p> <p>請願内容をしっかり受け止め、請願者・市民の視点・観点に立って判断すべきだ。</p> <p>討論で議会への越権行為と言っているが、議会を市民の上に置くものでないか。請願権というものを議員はしっかり認識すべきだ。</p> <p>(5)</p>	
7 所 感	<p>議員は何のためにいるのか、議会の役割は何か。請願権を廻って議員の認識が問われた。</p>	